



小海支所の  
1支所1協同活動で  
小海小学校の  
5年生が田植えを  
行ないました。

—関連記事10面—



# し ら す

2015.7 vol.166

JA NaganoYatsugatake'Let's Try Us'

Let's Try Us!

太陽の恵みの一番近くに



## 農協改革に関する研究集会

野菜販売懇談会開催 [農業部]

農林年金受給者協議会総会開催 [企画総務部]

海尻基幹集落センター内 ATM稼働再開 [金融共済部]

「やさいをたっぷりおいしくレシピ」

レシピ集発行 [企画総務部]

平成28年度 新採用職員募集 [企画総務部]

家庭菜園 カブ

絆~きずな~ 組合員・職員対談

理事会報告

フォトニュース

我が家のちやいドル

女性部ニュース

やさいをたっぷりおいしくレシピ

『ズッキーニのカナッペ風焼き』



JA長野八ヶ岳

# 農協改革に関する研究集会



4月22日、安曇野市「安曇野スイス村サンモリッツ」大ホールで、JA長野中央会・JA長野県農政対策会議主催による「農協改革に関する研究集会」が開催され、県内20農協の役職員など約540人が参加しました。集会では元(財)協同組合経営研究所理事長の福間莞爾氏が基調講演を行い、JA全中のJA改革対策部長の山下富徳氏が農協法の改正内容を報告。JA長野中央会の春日十三男専務理事が今後の取り組みを提起しました。その概要を掲載します。



## Profile 福間莞爾

1943年、島根県松江市生まれ。65年全国農業協同組合中央会(全中)に入会し、69年農協監査士選任。96年全中常務理事、99年JA経営マスターコース副塾長に就任。その後、(財)協同組合経営研究所理事長、同顧問、JA経営マスターコース講師、鯉湖学園農業栄養専門学校客員教授などを歴任。『転機に立つJA改革』『規制改革会議・JA解体論への反論』など著書多数。

## 「協同組合」としての方針を明確に宣言する intent

— 基調講演 農協改革(農協法改正)の今後とJAグループの対応 —  
— 自己改革方策とJA全国大会議案の策定 —  
元(財)協同組合経営研究所 理事長 福間莞爾氏

### 農業政策の失敗を押しつけてきた政権・農水省

この1年でJAをめぐる環境は激変しました。昨年3月の全中総会では何もなかったものの、5月14日に規制改革会議農業ワーキンググループによる提言を端緒に、6月に規制改革実施計画を閣議決定。11月にはJAグループの自己改革方策を決めました。しかし、准組合員利用制限というJAグループにとっての王手飛車取りを迫られ、全中の一般社団法人化などを受け入れざるを得ず、

准組合員利用規制は先送りとなった。

今年2月の安倍総理の所信表明演説では、全中の一般社団法人化を象徴として「農協改革断行」がうたわれ、政府・与党で農協改革の骨格が決定。その後4月3日に農協法改正案が閣議決定され、本通常国会において審議がされる予定です。

昨年6月の規制改革実施計画の内容を解釈すると、  
①JAを農業専門的運営に転換する。  
②そのために将来的に信用・共済事業をJAから分離する。  
③組織再編に当たり、株式会社の運営方法

を取り入れ、全農、農林中金、共済連はJA出資の株式会社へ転換する。④JA理事の過半数を認定農業者、農産物販売や経営のプロとする。⑤中央会制度はJAの自立を前提として現行制度から自律的な新制度に移行する。⑥准組合員の事業利用について、一定のルールを導入する方向で検討する。

これが仮説的な「グランドデザイン(=長期にわたって遂行される計画)」6項目です。現時点でも、これは全中の問題で、各農協は影響がないと誤解している人たちが多く。ただし将来的には、准組合員の事業利用規制を背景として、信用共済事業の分離が迫られる恐れがある。これらのことについて、中央会が理解していても、各農協や組合員が理解していなければ、何も伝達していかないことと同じ。これからの農協運動は一部の幹部だけが進めるのではなく、JA、組合員が参加できるように日ごろから対話し、説明していく必要があります。

現実的に、農協組織には正組合員よりも多くなった准組合員の問題、准組合員の利用が多い信用・共済事業のウエイトの増大、農業振興や農業者の育成の問題などさまざまな課題があり、これまでも自己改革を進めてきました。それが成功していると言えない背景には、輸入自由化など農水省の農業政策にも問題がありました。にもかかわらず、すべての責任を農協に押しつける形で、世論を背景に農協は農業のためだけにがんばれ、そのためにと自由

けてもいいと言ってきたのが現状です。

### 求められる農業振興への取り組みと対外発信

これに対してわれわれはどういう路線をとるか。JA綱領には「農業と地域社会に根ざした組織として社会的役割を果たします」とあり、これは農水省の方針とは真っ向から対立します。「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」こそわれわれの方針です。協同組合は助け合いの組織ですから、政権に関係なく堂々と運動を続けなければならないのです。そこで重要になるのは農業振興です。今まで農業は農家の仕事で、農

協はそのお手伝い。これからは農協がリスクをとって農業生産にも直接関わるのが大事になると思います。そして、協同組合としての方針、株式会社としての経営はできないことを明確に宣言し、広くマスコミにも積極的に発信していく必要があります。今度の全国大会では、JA改革、将来ビジョンの確立などを討議していくこととなります。諸問題を解決していくためには、組合員、国民、地域住民に焦点をあてて農協運動を再構築していくことが重要で、そこそが自主自立の協同組合のあり方だと思っています。

全国農業組合中央会(全中) JA改革対策部長 山下富徳氏

## 「農を基軸」として自己改革を系統組織として自己改革を

### 「農協改革」の背景

今回の「農協改革」と平成13(2001)年の法改正との違いは、政権が強力で、農水省が改革を主導したという点です。「農協改革」が政府の規制改革の本気度を示す試金石としてとらえられました。

「農協改革」の背景には、担い手が高齢化して生産基盤が加速度的に

脆弱化していくという大変なときに、JAは准組合員を増やして、信用事業・共済事業ばかりにかまけて、本来業務である営農指導や経済事業をおろそかにしているとの批判がありました。

また、自民党の政調会長が発言されていますが、「地域農協が主役。中央会が強力な監査権限や指導権限で地域農協の自由な発想や創意工夫を阻害している」との問題意識からの

改革」として、農業の成長産業化に向けてJAが営農経済事業に全力投入できるような環境をつくること。

中央会がJAを縛っている事実はないのですが、改革の象徴として中央会制度の廃止は譲れない、JAの理事構成も変える、生協への組織転換や全農・経済連の株式会社化ができるようにする、准組合員の事業利用も制限してはどうか—そこから改革議論はスタートしました。

最終的に議論の論点として残ったのは、准組合員の利用量規制と中央会制度の廃止の二点で、JAグループとしては、准組合員の利用量規制がかけられたら大変なことになるということで、准組合員の利用量規制を阻止する方向に動かざるを得なかった。

議論の結果、最終的には准組合員の利用量規制の導入は今回見送られ、規制のあり方は、准組合員の利用状況やJAグループの自己改革の状況と調査して、5年後に再検討するというところで決着しました。

これについて、自民党の農林部会で農水省経営局長が答弁しています。「農業の担い手から農協が経済事業を頑張っているという評価を得られたかどうかを見ていく」。営農経済事業でJAグループがどう改革を進めるかが重要と発言されているわけです。

### 今後の課題

今回の「農協改革」をふまえ、一 つ目は、「農を基軸」とするJAと



して、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指して何をするか。信用・共済も含めて、総合事業でどう農業に貢献していくのか。改革の成果を出さないと組合員からも国民からも納得してもらえません。

二つ目は、協同組合として、事業を通じて、農業や地域を正・准組合員が共に支える姿を描き、実践し、協同組合への国民的理解と評価を獲得すること。

三つ目は、総合農協と事業別の各連合会が一体となって事業を行う系統組織として機能している姿を描くこと。連合会は事業別ですから、新たな中央会がヨコ串を入れ、JAと連合会が一体となって農業と地域を支えている姿を描いていきたい。

今年10月に予定しているJA全国大会は以上の課題に対して共通認識をもって実践して、成果をあげることが確認する大会としなければなりません。

### 法律改正の中身

◎運営原則の明確化—従来の非常

【ことわざ豆知識①】

良薬は口に苦し (りょうやくはくちにくしがし)

良い薬は飲みにくいだが、病気には効き目があることから、他人の忠告は受け入れ難いが、

利規定に、「農業所得の増大に最大限の配慮」「収益を組合員に還元、あるいは将来の投資に回す」という項目が追加されています。

●理事等の構成―「理事の過半数は認定農業者または経営のプロ。ただし、認定農業者が少ないなどの場合には例外としてもいい」。これについては、現場実態に即し弾力的に運用すべきとの議論があり、認定農業者OB、集落営農の役員など、省令で幅広く解釈できるように措置することとなります。

「理事の年齢及び性別に著しい偏りが生じないように」は、例えば青年部や女性部の方が理事に入る。ゼロではダメということ。平成29（2017）年4月以降の改選では、この要件を満たしていな

いと、任期途中で要件を満たさよう改選しなくてはいけなくなり。また、

●組合の組織変更等―農協を分割することができるとは、株式会社化、一般社団法人化、生協化、厚生連を社会医療法人に変更することができるといになります。

●中央会制度の廃止―中央会は廃止されますが、法律の施行日以降も「存続中央会」として残ります。施行日から3年6カ月を経過する日までに組織を変更することになります。全中は一般社団法人になり、その事業は組合の意見を代表し、組合相互間の総合調整を行う。

県農協中央会は、「経営相談」「監査」「組合の意見を代表」「組合相互間の総合調整」「それに付帯する事業」の5項目を行うことができる「連

合会」になります。この5項目に限って事業をやる連合会であれば「中央会」と名乗ることができず。

●会計監査人の設置―貯金量200億円以上の農協は、全中のJA全国監査機構の監査ではなく、会計監査人（公認会計士または監査法人）の会計監査が義務付けられました。

JA全国監査機構は外出して監査法人にする。法律の施行日から起算して3年6カ月を経過した日から適用になります。3年6カ月以前でも、会計監査人を置いた組合は会計監査人の監査を受けなくてはいけなくなります。タイミングに注意してください。

●その他―競合関係にある事業を営む者等が当該組合の理事等になつてはならないという規定を廃止しま

す。最高裁判例が出ていますが、競合事業を営む人でも理事になれる。ただし理事に就任後、JAと競合する事業を行うと法律違反になります。農協法の「忠実義務」でカバーできるので改正しても問題ないと解釈されています。

●施行時期と見直し―施行時期は平成28（2016）年4月1日。施行後5年を目途として、改正の検討を加えて必要な措置を講じる。いわゆる5年後見直しです。また、准組合員の利用規制のあり方については、5年を経過する日までの間に、正・准組合員の組合事業の利用状況、改革の実施状況の調査を行い、検討を加えて結論を得る―これが5年間先送りとされた部分です。

## 今後の取り組み提起 本県JAグループの今後の取り組みについて

JA長野県中央会 専務理事 春日十三男氏

# 環境変化を踏まえた 後期中期計画の策定に向けて

### 中間総括

## 官邸主導への憤りと 反論できなかった反省

JA長野県グループ改革検討委員会を組織し、JA改革と中央会改革、2つの検討委員会で対応を協議してきました。同時に、全国で組織協議した自己改革案の検討を行い、県選

出国会議員を中心に要請行動をしてきました。その中間総括です。

①官邸主導・日程ありきの改革推進 協同組合運動の主人公である組合員からかけ離れたところで議論が進められた感が強い。官邸主導で、農業ワーキンググループのメンバーにJAや地域に熟知した人が入っていない。准組合員の問題、JA役員

あり方など、規制強化されたような印象です。答申は米国の日本に対する年次要望書、また在日米商工会議所意見書等の中身に合致し、改革ありきの内容。協同組合は目的や事業の進め方が違うわけですが、株式会社化しろと言われたことについて憤りを感じます。

また、議論の進め方は本来なら県域なり各JAで討議して意見を集約していくべきところ、結果的に大手町で決定して、全国へ通知という形になった。最後には、准組合員と中央会改革というバスター取引のような話になったことも不満です。

②事実をねつ造した報道も 中央会改革について、「中央会の

指導力が強く、各単位JAの個性的な取り組みが阻害されている」ことを理由にしましたが、県下農協にはそんな考えはなく、それぞれ個性的な取り組みがなされています。また准組合員の利用についても、





それによって農業者の事業を妨げられている事実があるのか。逆にパートナーとして位置づけられている。これら2点について、事実をねつ造されて報道されているのに反論ができませんでした。

### ③ 改革の具体的な説明の欠如

誰のための改革なのか。全中の一般社団法人化、農協監査の外部出しが、どうして農業所得の増大につながるのか説明がない。組合員や地域への正確な情報提供やマスコミ報道への反論が不十分という反省はあります。一部には誤認報道もあり、国民に分かるような情報を伝えていかなくてはいけないという反省です。

### ④ 組織としての闘い方

組合員に正確な情報を伝えられたのか。場合によっては、地域の組合員から抗議行動を起こす必要があった。最終的に、全中vs官邸・農水省

という中で合意されたが、上だけで決まった話となると、今後の組織運動が難しい。ここが課題になります。

### 課題整理

### 課題の洗い出しと組織改革の検討

昨年11月27日のJA長野県グループ改革検討委員会で、今後どう検討を進めていくか整理してあります。

まず重点施策にかかわる課題の洗い出し。各組織の中期計画に実施されている課題や問題点を洗い出し、なぜできなかったのか、どこに問題があるのか検討することが自己改革につながる。そういう点で加速していくべきこと、新たな視点で見えていくべきことの洗い出しを進めていきます。

さらに課題の洗い出しを踏まえて、必要となる事業や運営方式、事業連携や合併を含む組織整備の検討も行う。プロジェクト等を作りながら、第67回JA長野県大会の決議、全国大会での審議も踏まえて進めていきます。

### 後期中期計画 農業所得の増大と地域協同組合の役割発揮

JA長野県長期構想策定委員会において、前期中期計画の中間総括を行い、農協改革やTTPの動向等を踏まえながら、環境変化に対応した後期中期計画を策定していきます。

### ① 基本的な考え方

「食と農をおこし、一人ひとりの笑顔が生まれる地域をみんなで実現します」というJA長野県のビジョンは、持続可能な農業と、豊かで暮らしやすい地域社会を将来に受け継いでいきたいという、組合員や地域の人々の願いに合致します。このビジョン実現に向けてしっかりとやるべきことが農協改革につながる。

今後、政省令等が出てきますので、必要な場合は中期計画の見直しも含め、スピード感を持ってすすめていきたい。

### ② 後期中期計画の構成(フレーム)

JA長野県後期中期計画の重点改革目標を「ビジョン実現に向け3カ年で達成すべき目標」とします。その全体目標について、「農業所得の増大」「社会に貢献する地域協同組合の役割発揮」という視点で、「農をつくる」「くらしをつくる」「JAをつくる」「共感をつくる」という各分野を見直し、数値目標化して取り組みたい。

中期計画策定支援として各JAにも、分野別・事業別にJA・県域の一体的な取り組みを進めるための指針を示します。各分野別・事業別の中期計画を示しながら、全体的な目標レベルを一致していきたい。

### ③ 検討の進め方

各分野の必要施策等について、JA関係部課長会議での協議を踏まえて、常勤役員クラスの全体会議(専門検討委員会)へ持ち上げ、長期構想策定委員会において審議します。また検討は、農協改革検討委員会の議論やJA全国大会の審議と並行し

て進め、前期中期計画の中間総括、環境変化の分析、組合員アンケート、一般意見、外部審議会からの意見を反映させます。できるだけ早期に着手し、全国大会議案、本県JAグループ後期中期計画、JA別の中期計画が有機的に連携されるよう策定作業を進めていきます。

### 後期中期計画策定に向けた論点整理

論点を5点に整理しました。計画策定の中で論議していただき、各JAがどういった後期中期計画を作っていくかということです。

◎論点1―農業所得の増大、社会に貢献する地域協同組合の役割発揮を実現するための具体策は何か。

◎論点2―協同組合の事業メリットを出すためには、現場でのヨコ串の仕組みと、さらなるJA・県域の一体的事業展開が必要ではないか。どういったことができるのか。

◎論点3―組合員の参画促進を進めるとともに、准組合員の意志反映や参画意識の醸成を図る具体的な手法をどうすべきか。

◎論点4―自己改革について、着実な実践を担保する仕組みをどう組み込むか。

◎論点5―系統組織のあり方をどう考えるか。各JAで論議したものを県域全体の意見としてまとめた。それが後期中期計画の柱になっていくと思います。

以上が、今後の改革の中での進め方、後期中期計画についての進め方です。

農業部

## 野菜販売懇談会開催

J A長野八ヶ岳野菜専門委員会は、当JAでの売上高上位の卸売会社の社長の皆さまをお招きし、野菜販売懇談会を、6月4日、5日に開催しました。

今年で4回目を迎える懇談会ですが、当産地の野菜販売にご理解をいただき、2年続けて売上高を伸ばすことができました。当日は11社の社

長の皆さまにご出席をいただき、有意義な意見交換がなされ、今年度の野菜販売につながる懇談会となりました。



企画  
総務部

## 農林年金受給者協議会総会開催

農林年金受給者協議会は6月11日、川上村において総会を開催しました。

総会前にはマレットゴルフ大会を川上村遺跡マレットゴルフ場において行ない、また、初めての試みとして、南牧村の清里アーリーバードゴルフクラブにおいてゴルフ大会も実施しました。

梅雨の晴れ間、参加された会員の皆様は、存分にプレーを楽しまれ、交流を深めたようです。

総会では、提出されたすべての議案について承認をいただきました。

ゴルフ



マレット  
ゴルフ



### 【大会結果】 ※敬称略

- ◆マレットゴルフ 優勝 加藤 千鶴子 (川上支所)  
準優勝 中島 喜彦 (南相木支所)
- ◆ゴルフ 優勝 小池 哲雄 (野辺山支所)  
準優勝 井出 禎次郎 (川上支所)

当協議会への加入をご希望される方は、各支所の担当者までご連絡をお願いします。

金融  
共済部

## 海尻基幹集落センター内 ATM稼働再開

平素は、JA長野八ヶ岳の信用事業におきまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

南牧村海尻基幹集落センターの移築に伴い、長期休止となっておりました同センター内の当JAの貯金預け払い機(ATM)が、7月1日から稼働を再開いたしました。

移築工事の間、組合員・利用者の方

皆さまには大変ご不便をおかけしました。今後とも、ご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。



## 南相木村そば 生産組合総会開催

5月25日、南相木村公民館で平成27年度南相木村そば生産組合の総会が来賓を含め20名が出席し開催されました。



総会では平成26年度の事業報告、決算報告の他、平成27年度の事業計画では6次産業、遊休農地解消事業に熱心に取

り組むとし、13・0haの作付け目標および製麺技術者の育成・そば打ち体験実施等について協議されました。

また、同組合の生産活動と在来種の保存、加工から販売までの取り組みが評価され、財団法人日本そば協会主催の優良生産者表彰事業において、農林水産省生産局長賞(第2位)を受賞したことが披露されました。

発足時は4人だったという同組合ですが、さらなる発展が期待されています。



「やさいをたっぷり  
おいしくレシピ」  
レシピ集発行

広報誌レタスで掲載中の「やさいをたっぷりおいしくレシピ」が、各支所の女性部員、組合員の皆さまのご協力により、2006年の開始以降100回を迎え、このたびレシピ集を制作しました。

素材を大切に作る心配りが感じられ、また、忙しい時にも手軽にチャレンジできるレシピが盛り沢山です。レシピ集は、各支所の窓口配置するほか、東京、大阪、名古屋など各都市で7月から開催される消費宣伝会においても配布し、産地ならではの野菜の美味しい食べ方として紹介していきます。



更なる発展・未来に向かって! 長野県農業

# JA農機&資材 フェスタ

2015年 7月31日(金) 8月1日(土)

AM9:00~PM4:00 AM9:00~PM3:00

どなたでも  
入場無料

開催場所 **エムウェーブ**  
(長野市オリンピック記念アリーナ)

トラクター、田植機  
農機具類から肥料・農薬・農業関連資材まで  
使って便利な品々が「Mウェーブ」に大集結!!

自働機や  
実演機械ほか  
お値打ち品も  
展示!!

花の苗や  
ガーデニング  
用品等も  
たくさん  
取り揃えて  
お待ちして  
います!!

主催 長野県農協生産資材事業推進協議会  
後援 長野県くみあい農業機械サービス連絡協議会  
JA全農長野

## 平成28年度 新採用職員募集

JA長野八ヶ岳では、次のとおり平成28年度に採用する職員の募集をします。

●募集職種および人数

①一般職員	若干名	②営農指導員	若干名
③畜産授精師	1名	④自動車整備士	1名

●応募資格

- ①大学、短期大学、専門学校卒業または卒業見込みのもの(20歳~25歳:平成28年4月1日現在)
- ②営農指導員にあつては、農業関係の学校卒業または卒業見込みのもの
- ③畜産授精師にあつては資格保持者または取得見込者
- ④自動車整備士にあつては二級自動車整備士資格保持者または取得見込者
- ⑤通勤可能者

●採用日程※8月以降JAホームページ、広報誌等で詳細な日程はご案内します。

- ①募集期間 平成27年8月上旬~8月末
- ②筆記試験 平成27年9月中旬~下旬
- ③面接試験 平成27年10月上旬~中旬(筆記試験合格者)
- ④採用内定 平成27年10月下旬
- ⑤採用予定 平成28年4月1日(事前研修あり)

※その他の不明な点につきましては、本所総務経理課(0267-91-1101)までお問い合わせください。



— 農業部 企画振興課 —

# 家庭菜園

## カブ

地中海沿岸の原産ですが、日本でも古くから栽培され、色・大きさ・形などの異なる地方色豊かな品種が多く作られています。

大・中・小の3種類があり、家庭菜園でおススメなのは、栽培期間が短く、育てやすい小カブです。

### 1 土づくり・種まき

種まきの2週間前に、石灰100g/m<sup>2</sup>を散布して耕し、1週間前には、堆肥2kg/m<sup>2</sup>と化成肥料100g/m<sup>2</sup>を散布してよく耕し、幅60cm、高さ10cmの畝を立てておきます。

種まきは、条間20cmとって2列の溝をつけ、すじまきにします。土をかけて軽く押さえ、たっぷりと水をやります。以降の水やりは、土が乾かないようにしましょう。

### 2 間引き・追肥・土寄せ

本葉1~2枚で株間2~3cmに、本葉3~4枚で株間5~6cmに、本葉5~6枚で株間10~12cmに間引きます。

2回目以降は、生育状況をみながら、間引き後に化成肥料30g/m<sup>2</sup>を施し、土寄せをします。

間引きは、カブの根を肥大させるための重要な作業になりますので、適期を逃さず、早めに行ないましょう。

### 3 収穫(種まきから40日~50日)

カブは、乾燥や長雨、土壌の水分量が急激に変わると、表皮の内部の成長のバランスが崩れ、根が裂けてしまいます。

また、収穫が遅れても内部が肥大して裂けるので、適期に収穫しましょう。

小カブは直径5~6cmぐらいから、大カブは10cm以上を目安に収穫しましょう。



- ※ アブラムシやコナカが発生するので防除には注意しましょう。
- ※ 無農薬で栽培したい場合には、寒冷紗などで覆い、害虫の侵入を防ぎましょう。
- ※ アブラナ科野菜の後に作ると、根コブ病などの連作障害が発生することがあります。

## 理事会報告 第4回理事会

開催日 6月29日(月)

開催場所 J A 本所会議室

以下の議案について協議し、決定されました。

#### 協議事項

##### 第1号議案

ディスクロージャー誌の決定について  
ディスクロージャー誌について承認されました。基本的には総代会資料と同一なものです。特に金融事業に関する開示を主にしたものです。信用事業および共済事業を行なうJ A は、6月末までに不特定の利害関係者等を対象としたディスクロージャー誌を作成し、開示しなければなりません(農協法54条の3)されています。

##### 第2号議案

夏季賞与の決定方法について  
今年度の夏季賞与について検討方法を決定していただきました。

##### 第3号議案

平成27年度農業祭の開催について  
農業祭の開催について決定をいただきました。例年10月の開催ですが、準備等の関係から、この時期に開催については是非を判断いただきました。

#### 報告事項

- 5月末第1四半期決算の状況について
- 決算財務モニタリングの報告について
- 内部統制報告について
- 各部よりの報告事項



# 絆

きずな

組合員・職員対談  
～ vol.31 ～

JA長野八ヶ岳の酪農部会の部会長を務める三井さん。ご自身の酪農での取り組みや、部会の活動などについてお話を聞かせてください。

今年度から、酪農部会の部会長を務めます。現在の部会員は40名で、今年度は生乳生産量22,600トンを目指し、生乳ポジティブリスト制度を推進しながら安定的な生産をめざしています。

私自身、乳牛を86頭飼育し、毎日約2トンの生乳を出荷しています。早朝と夕方からの搾乳や給餌、清掃と忙しい毎日ですが、牛の健康状態を飼育の中でしっかり把握してあげることが大切なことです。牛舎の換気や、設備を清潔に保つことで牛のストレスも減り、良質な生乳が生産できるようになります。

部会では昨年より消費者への安全、安心な生乳生産への取り組みとして、役員が年2回全戸を巡回し、衛生状況のチェックを行なっています。研修会などを開催し、原点に戻った技術の改善に取り組んでいます。

## 良質な乳生産に向けた「安全・安心」の確保 地域ブランドを作る生産者としての責任



ゲスト  
JA長野八ヶ岳酪農部会部会長  
三井 宏之 (みつひろゆき) さん  
南牧村野辺山



インタビューアー  
農業部畜産酪農課  
星野 瑛代

興味を教えてください。

生き物が相手の仕事ということもあり、これといった趣味をもつことは難しいかもしれません。趣味とは違いますが、日々、子どもたちの成長を見守ることに幸せを感じています。最近子どもがサツカーの試合へ、応援に出かけるのが楽しみのひとつになっています。

酪農部会の今後の抱負についてお聞かせください。

今年度も飼料価格が高値で推移される予想がされますが、生乳生産量の維持に努めなければなりません。また予断を許さないTPP交渉では、「聖域」のひとつである乳製品の輸入

も懸念されます。

このような中、JA管内には「ヤツレン」という他の地域にはない環境があります。生産から販売まで、生産者の顔が見える安定的な生乳の供給ができるよう、また、生産性の向上と、地域ブランドを構築する生産者として、良質な生乳生産に向けた安全・安心の確保へ二層の努力が必要です。

口蹄疫やBVD、MDなどの家畜伝染病に対して、防疫体制も強化され、今では牛舎で農業体験をする子どもたちも少なくなくなり、淋しさを感じますが、学校給食への牛乳提供や、イベントでの牛乳配布といった消費宣伝を通じて、生産者が消費者と交流するきっかけができれば嬉しいですね。酪農家にとって不安要素は山積みですが、JAをはじめ家畜診療所や農業普及所とともに、農家戸数を維持する取り組みも行なっていきたいと思っています。

### 対談を終えて…



●この春JAに就職し、畜産酪農課に配属された星野さん。これから覚えることが多く大変だと思いますが、早くJA長野八ヶ岳に慣れていただき、地域の畜産業になくならない人材に育ててくれることを期待します。がんばってください。(三井さん)

●今年度から酪農部会の部会長になられた三井さん。日頃から大変お世話になっています。今回の対談でいろいろとお話を聞くことができ、私にとって、とても有意義な時間となりました。新米でまだまだ未熟者ですが、生産者の皆さまのお力になれるよう今後も日々精進します。給餌や搾乳の間の貴重なお時間に、対談にお付き合いただき誠にありがとうございました。(星野)

【こトホヤ知知識④】

笑う顔に矢立たず (わらうかおにやたたず)

笑いは人の心を明るくし、健康にもよい。また、いつも笑顔で接してくれる人には、たとえ

小海支所



6/4  
小海小学校で田植え

小海支所の1支所1協同活動である小海小学校5年生の米作り支援が始まりました。田植えでは、小海駅前支所の組合員である武川和雄さんに用意していただいた「もちひかり」の苗、約1,500株を職員4名が参加して、子どもたちと一緒に植えつけました。これから毎日、子どもたちは水の管理が日課となりますが、秋には美味しいお餅が食べられるようがんばってほしいです。

川上支所



6/12  
年金友の会マレットゴルフ大会

川上支所年金友の会マレットゴルフ大会が川上村遺跡マレットゴルフ場で開催されました。梅雨の時期でもあり天候が心配されましたが、42名の会員の皆さまに参加をいただき、晴天のもと競技が行なわれました。初めてマレットゴルフに挑戦された方もベテランの方も、共に楽しく競技し、親睦を深めていただきました。参加されました皆さまお疲れさまでした。

南牧支所



5/18・20  
年金友の会春季スポーツ大会

年金友の会で春季スポーツ大会を開催し、市場マレットゴルフ場で行なわれたマレットゴルフ大会には58名、板橋ゲートボール場で行なわれたゲートボール大会には3チーム16名の会員の皆さまの参加をいただきました。両日も天候に恵まれ、運動するのには最高の一日となりました。年金友の会では、各種スポーツ大会や、長寿のお祝い、旅行などを企画しています。年金をお受けになる際は、支所金融窓口までご相談ください。

★ゲートボール大会結果  
優勝 平沢チーム

★マレットゴルフ大会結果 .....  
【男性の部】 優勝 高見澤元雄 準優勝 高見澤武久 第3位 吉澤 決  
【女性の部】 優勝 市川弥生 準優勝 横森しな代 第3位 高見澤やえ子 (敬称略)



いろんな支所のイベントを写真で紹介するよ!



Photo News  
フォトニュース

南相木支所



6/3  
野菜部会女性研修会

南相木野菜部会では女性研修会を開催し、山梨県富士吉田市にあるキューピー工場を視察しました。視察には31名の女性生産者と市場担当者2名が参加し、野菜サラダの味つけには欠かせないマヨネーズやドレッシングの製造工程や、その歴史について詳しい説明を受けました。参加者の中には新規就農者の方も多く、これから農繁期を迎えるにあたり、先輩生産者の皆さまとの意見交換の場にもなり、とても有意義な研修会となりました。

野辺山支所



6/4  
野辺山支所青年部孺恋視察

野辺山支所青年部では孺恋への視察を実施しました。夏野菜の価格形成に多大な影響を与える産地ですが、出荷シーズンが野辺山と同時期であるため、なかなか視察できないということと、特に若い部員に同産地を見たことがない人が多かったため、今回の視察を実施しました。当日は10名の部員が参加し、産地全体を見学しながら、定植状況、作業状況、生育状況を確認しました。当JA管内にはないような作業機械、管理作業に刺激も受け、部員一同の生産意欲の更なる向上に繋がる視察となりました。



とても仲のいい兄妹で、スイカやメロンなどの果物が大好きです。「じいちゃん  
が作ってるブロッコリーは、すごくおい  
しいんだよ!」と話す凧大くんは、売れ  
っ子タレントになって、バラエティー番  
組などでいろいろなお所へロケに行きたい  
そうです。小学校のイチヨウの木に登っ  
たり、運動神経が抜群な鈴乃ちゃんは、  
とても活発な女の子。TVドラマ「ドS刑  
事」の主人公、黒井マヤのような刑事に  
なるのが夢です。  
凧大くん、鈴乃ちゃん、ありがとう。

好きな食べ物は?

漬け物・おひたし・

くだもの (凧大くん)

フランスパン・くだもの (鈴乃ちゃん)

好きなテレビ番組は?

トムとジェリー (凧大くん)

ドS刑事 (鈴乃ちゃん)

好きなこと・得意なことは?

ローマ字の早打ち (凧大くん)

木登り (鈴乃ちゃん)



すずの  
鈴乃ちゃん  
(7歳)

りんた  
凧大くん  
(10歳)

★両親★ やまぐち りゅうじ こ 山口 竜司さん みえ子さん (小海支所 ニタ子池)

女性部

Ladies' news

ニュース

南相木小学校児童農業体験に参加して

南相木支所女性部 菊池 さち江



南相木小学校では毎年、「児童農業体験事業」が各種団体の協力で行なわれています。

今年も5月21日に行なわれ、南相木支所女性部も参加しました。

子どもたちと一緒にマルチ張りから行ない、学年ごとに決めた野菜の種や苗を植えました。マルチ張りの作業は、子どもたちも大変そうでしたが、マルチの穴あけ作業は人気で、みんな順番に開けていました。

前夜の雨でぬかるんだ畑でしたが、大豆の苗を植える場所のマルチ張りをする手ぎわの良さは、さすがは女性部のみなさんでした。

3年生は学級園にキャベツの苗を植えました。

このキャベツは、理科の授業のアオムシの観察用とのことです。1人1本ずつ頑張って植



えました。

しっかり観察できると思いますね。

じゃがいもとさつまいもの畑では、子どもたちは苗の植え方を熱心に聴きながら、一生懸命植えています。

「石焼きいも」と、すでに収穫が待ちきれない様子です。自分たちで植えた野菜を育てて食べ、農業に興味をもってもらえればうれしいです。

一生懸命で元気な子どもたちにパワーをもらった一日となり、私もこれからの農作業をがんばれそうです。



JAでは、女性の運営参画を推進しています。

葬儀・仏事に関するご相談は  
あたたかい太陽の恵みに包まれて...  
多目的ホール

あおぞら

365日24時間体制 TEL.0267-92-5510



**大人気!!** FranceBed フランスベッド社製  
**電動カート スマートパル**  
おまかせ設置 非課税価格  
**288,000円**  
グリーン / ピンク

こがずに  
自動でラクラク  
ゆっくり進むから  
安心です!!

1年保証

前カゴ  
後ろカゴ  
板ホルダー付  
後方カメラ付

おためし無料! ご試乗いただけます!  
お宅にお伺いいたします。詳しくはフリーダイヤルへ  
**0120-889-147** 通話料無料 平日のみ朝9時~夕方5時まで

花苗専門委員会特別事業  
**花苗の無料配布**

JA長野八ヶ岳花苗専門委員会では、皆さまに花により親しんでいただこうと、苗と球根の無料配布を7月上旬から、各支所にて行ないます。

**スプレー菊(4品種)**  
レイン(白)/ビーム(赤)/パージュ(ピンク)/コスモ(黄)  
※9月のお彼岸の頃に咲きます。多くの花をつけるタイプです。

**グラジオラス(2品種)**  
エッセンシャル(白)/マグマライン(赤)  
※9月上旬に開花します。

庭先に植えていただければ毎年開花し、目を楽しませてくれます。  
スプレー菊は秋咲きの品種なので、毎年お彼岸頃に咲きますが、グラジオラスは年々開花が早くなる特徴があります。  
ぜひこの機会に花にふれてみませんか?

お問い合わせ先 **小海営農センター**  
**TEL.0267-91-2222** 販売指導課花苗担当まで

**やさしい たっぷり おいしくレシピ**

『ズッキーニのカナッペ風焼き』

材 料 [3~4人分]  
■ズッキーニ……2本  
■シーチキン……1缶  
■マヨネーズ……適量  
■かつお削り節……2袋  
■しょうゆ……少々

1 ズッキーニを洗い、皮付きのまま両端を切り落とし、7~8mm幅位の輪切りにする。  
※1cmだと厚すぎるので注意!!

2 シーチキン、マヨネーズ、かつお削り節を混ぜ合わせ、しょうゆで味を整える。

3 1のズッキーニの上にスプーンで2をのせる。

4 トースターで10分位焼いて出来上がり♪

★油を使わないのでとってもヘルシー!! お子さんから年配の方まで、おいしく食べていただけます。お好みでミニトマト、チーズ、コーンなどをトッピングしてアレンジしてみてください。

今回のレシピ提供は  
川上支所女性部  
岩水 陽子さん

**あなたからのメッセージをお待ちしています!**

JA・広報誌に関するご意見、身近な出来事、情報をお寄せください。

〒384-1305 南牧村大字野辺山106-1  
JA長野八ヶ岳 広報委員会 宛  
E-mail: info@ytg.nn-ja.or.jp  
FAX.0267-91-1102

**編集後記**

夏至も過ぎて、いよいよ夏本番です。  
子どもの頃は夏休みが待ち遠しくて、プールに夏祭りなど、夏だからこそ楽しめる行事が盛り沢山だった気がします。大人になった今は、暑さに悲鳴をあげている間にいつのまにか次の季節が巡ってきてしまいます。  
もうちょっと季節を楽しめる余裕が持てるといいなあと感じますが、これも自分の心がけ次第だと思えますので、日々の生活に「楽しかった」「嬉しかった」「おいしかった」を少しでも意識して増やすことを心がけていきます。

Let's Try Us